

## ■養成所ニュースプラス第 44 号 2026□■

なかなか正月気分が抜けない方、資格を取ろうと決めたときを思い出してください。「相談支援に異動する」「現場のリーダーになる」「収入を増やす」などそれぞれの思いがあったと思います。毎年「本気で1か月やって受かりました」という先輩がいます。今日から「本気」でいきましょう。まだ2週間以上あります。

今回の人物に関する○×問題は「ソーシャルワーカーの基盤と専門職」からの出題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか、合わせて考えてみてください。

## ■Plus Quiz・・・・・・・・

### 【ソーシャルワークの基盤と専門職○×問題】

1. リッチモンド (Richmond, M.) は、『ソーシャル・ケース・ワークとは何か』において、ケースワークを人間と社会環境との間を調整し、パーソナリティを発達させる諸過程と定義した。【第 35 回問題 95 改変】
2. ハミルトン (Hamilton, G.) は、社会科学とのつながりを意識して、「リッチモンドに帰れ」と原点回帰を提唱した。【第 34 回問題 92】
3. トール (Towle, C.) は、「ケースワークは死んだ」という論文を発表し、社会問題へ目を向けることを提唱した。【第 34 回問題 92】
4. ホリス (Hollis, F.) は、「状況の中の人」という視点で、心理社会的アプローチを提唱した。【第 34 回問題 92】
5. ジャーメイン (Germain, C.) は、ソーシャルワークを本質的な観点から検討し、ソーシャルワークの活動を三つの機能に分類して定義化を試みた。【32 回問題 93】

正答と解説は最後に記載してあります。

## ■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(36 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(37 期生) 教育訓練給付制度 (専門実践教育訓練) の支給希望の方へ  
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。  
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏 (表紙の次のページ) に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。  
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

## ■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 38 回国家試験は、令和 8 年 2 月 1 日 (日) です。  
詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>
  - ・令和 7 年 12 月 12 日に、第 38 回社会福祉士国家試験の受験票が東京都内の郵便局から投函 (郵送) されました。  
詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/index.html>
  - ・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。  
12 月 26 日 (金) より、全ての「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」が視聴可能となりました。また、12 月 19 日 (金) より国家試験直前対策講座 (有料) の視聴が開始となりました。是非ご活用ください。  
受験対策ページへアクセスはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=5529](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529)
- ※「国家試験直前対策講座 (有料)」については、受講確定者に対してご案内 (受講確定通知) を郵便及びメールにて送付していますので、確認のうえご受講ください。

## ■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 38 期生の出願を受け付けております。

現在、3 期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介しますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=111](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=111)

資料請求についてはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=321](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=321)

## ■Back Number . . . . .

過去のバックナンバーはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=2686](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686)

## ■Plus Column . . . . .

### 【受験対策ミニ講座第 18 号／受験の手引の確認 2】

今回は、「受験の手引」12・13 ページ「試験当日の注意事項」からお伝えします。

(1) 試験当日に不正行為が判明した場合には、「受験停止または試験を無効」とされることがあります。12 ページに示されている不正行為の例示を、必ず確認しておきましょう。

(2) 12 ページには、腕時計でも、時計機能以外の端末機能、通信機能、辞書機能があるスマートウォッチ等は不可とあります。普段使用している方は、当日になって慌てないように、試験本番の対応を決めておきましょう。

(3) 12 ページには、午前 8 時 30 分から 9 時 20 分の間に必ず入室することとあります。午前 9 時 25 分から注意事項等の説明が始まるからです。当日目指す時刻は、試験の開始時刻ではありません。この点を見逃さないように時間設定をしましょう。

(4) 13 ページには、携帯電話は、試験開始前に試験監督員の指示で一斉に机の上に出し、電源が切れていることを確認して、各自カバンにしまうとあります。試験当日までに電源の入り切りやアラーム音の解除方法等、必ず確認してください。

(5) 13 ページには、試験会場へは公共交通機関を利用して来場することとあります。自家用車での送迎は遠慮してほしいこと、近隣店舗等の駐車場への駐車は絶対にしないこと、近隣からの苦情には直ちに警察に通報するとともに書かれています。

試験会場へのアクセスについては受験票にあります。様々な事態を想定し、複数の経路を検討しましょう。乗り換えにかかる時間、降車・発車ホームの番線、電車の行先、トイレの位置等を調べ、手元に残しておくとう安心です。

次回は、体調管理と合格した先輩からの当日に向けたメッセージをお伝えします。

### 【Plus Quiz . . . . . 正答と解説】

「ソーシャルワークの基盤と専門職」では、ソーシャルワークの発展に寄与した人物、ソーシャルワーカーの専門職化に関する人物、セツルメント活動に関する人物等が出題されてきました。ソーシャルワークの発展に寄与した人物は、「ソーシャルワークの理論と方法」の中項目「ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ」の出題内容にも重なります。

「実践共通基盤、価値・知識・介入のパートレット」「ワーカビリティ、問題解決アプローチ、6つのPのパールマンは『ケースワークは死んだ』」のようにいくつかのキーワードで覚え込むことはもちろんですが、社会状況やソーシャルワークの形成過程とともに理解すると尚更、確実な理解になります。10 月に送付した「年表」や中央法規の「国試ナビ」350・351 ページや「ワークブック（共通編）」535 ページに書き込んでいくのも脳にとどまる方法だと思います。今回の選択肢も時代の古いものから順番に並べています。

1. ○リッチモンドは、医療の概念をソーシャルワークに取り入れ、科学的実践として体系化しました。1917年に「社会診断」を出版する等、ケースワークの体系化に貢献したことによって、「ケースワークの母」と呼ばれています。
2. ×1950年代、心理的側面に傾倒したケースワークに対し、社会科学との繋がりを意識し「リッチモンドに帰れ」と主張したのは、マイルズ（Miles,A.）です。ハミルトンは、リッチモンドのケースワーク理論を発展させ、診断主義ケースワークの理論的体系化を行いました。
3. ×「ケースワークは死んだ」と論文を発表したのはパールマンで、問題解決アプローチを体系化しました。トールは、クライアントが共通のニーズをもっているという視点を基盤に、ケースワークと公的扶助との関係を論じることでソーシャルワークの発展に貢献しました。
4. ○ホリスは、「状況の中の人」「人と状況との全体性」を焦点化し、人を状況との相互作用の枠組みで理解しようとしました。1964年に出版された「ケースワーク?心理社会療法」で、心理社会的アプローチを提唱しました。
5. ×選択肢は、ベーム（Boehm,W.）の記述です。ジャーメインは、人とその人の環境との交互作用に焦点を当て両者の調和を目指しました。エコロジカル・アプローチは、エコロジカル・ソーシャルワークに発展し、ジェネラリスト・ソーシャルワークの形成に影響を与えました。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus